

外貨建てニッポン社債ファンド
2015-03
(為替ヘッジあり/限定追加型)
(為替ヘッジなし/限定追加型)

運用報告書 (全体版)
第8期

(決算日 2019年3月22日)

(作成対象期間 2018年9月26日~2019年3月22日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日系企業が発行する外貨建ての社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先 (コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00~17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3258>
<3259>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	約4年9カ月間 (2015年3月31日~2019年12月20日)	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ外貨建て日本社債マザーファンドの受益証券
	ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

為替ヘッジあり/限定追加型

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			公社債 組入比率	債券先物 比率	純資産 総額	
		税金 分	込 配	み 金				期 騰 落
4期末 (2017年3月22日)	円 9,746		円 70		% △3.4	% 93.9	% -	百万円 811
5期末 (2017年9月22日)	9,861		50		1.7	98.5	-	701
6期末 (2018年3月22日)	9,564		30		△2.7	94.0	-	642
7期末 (2018年9月25日)	9,420		25		△1.2	98.6	-	571
8期末 (2019年3月22日)	9,528		10		1.3	95.8	-	544

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

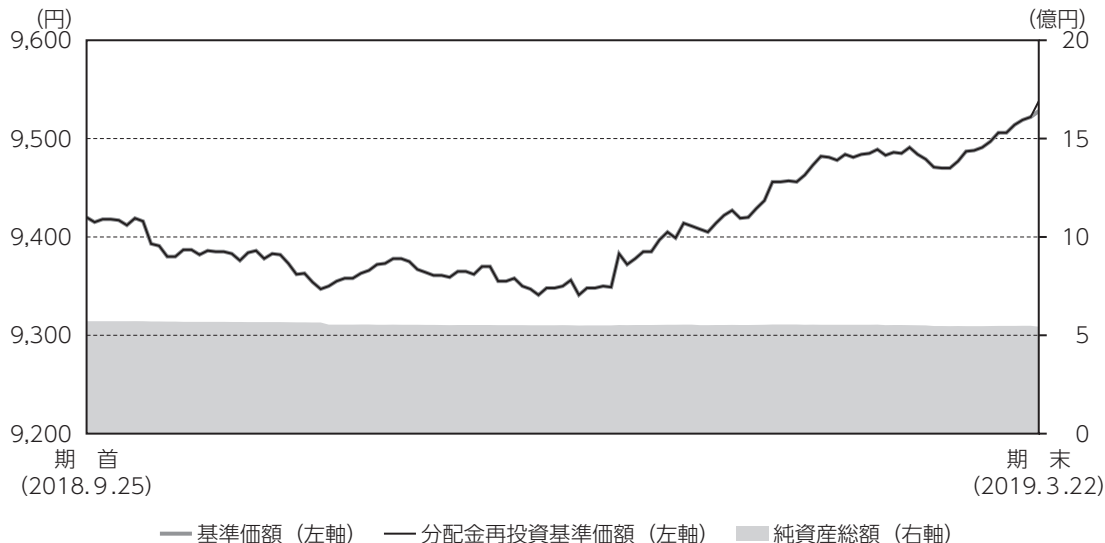
(注4) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,420円

期末：9,528円 (分配金10円)

騰落率：1.3% (分配金込み)

■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド」の受益証券を通じて、主として日系企業が発行する米ドル建ての社債に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行った結果、保有債券からの利息収入や社債金利の低下 (債券価格の上昇) を反映し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

外貨建てニッポン社債ファンド2015-03 (為替ヘッジあり/限定追加型)

年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率	債 券 先 物 率
		騰 落	率		
(期首) 2018年 9 月25日	円	9,420	% -	% 98.6	% -
9 月末		9,418	△0.0	99.0	-
10月末		9,373	△0.5	97.8	-
11月末		9,365	△0.6	97.0	-
12月末		9,349	△0.8	94.4	-
2019年 1 月末		9,437	0.2	94.0	-
2 月末		9,484	0.7	95.0	-
(期末) 2019年 3 月22日		9,538	1.3	95.8	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018.9.26～2019.3.22)

■米国債券市況

米国債券市場では、金利が低下（債券価格は上昇）しました。

当作成期首より2018年11月前半にかけては、FOMC（米国連邦公開市場委員会）で利上げが決定されたことや、パウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長が中立金利を上回る利上げの必要性に言及したことなどから、金利の上昇圧力が強まりました。しかしその後は、世界経済の減速懸念が広がる中、FRBによる追加利上げも市場のリスク回避姿勢を強めさせ、金利は低下基調に転じました。2019年に入ると世界経済に対する懸念は和らぎましたが、FRBの金融引き締め姿勢の後退を背景に、金利は当作成期末にかけて一段と低下しました。

米ドル建ての社債については、世界的な景気減速懸念から、当作成期を通じて見るとスプレッド（国債に対する上乗せ金利）は拡大しましたが、多くの銘柄は国債に連れて金利が低下しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

ポートフォリオについて

(2018.9.26～2019.3.22)

■当ファンド

「ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオを維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳(1万口当り)

項目	当期	
	2018年9月26日 ～2019年3月22日	
当期分配金(税込み)	(円)	10
対基準価額比率	(%)	0.10
当期の収益	(円)	10
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	769

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程(1万口当り)

項目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	162.35円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		13.59
(d) 分配準備積立金		603.60
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		779.55
(f) 分配金		10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		769.55

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2018.9.26~2019.3.22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	63円	0.671%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,410円です。
(投 信 会 社)	(25)	(0.263)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(37)	(0.395)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.012	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	64	0.683	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2018年9月26日から2019年3月22日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド	6,459	8,000	42,028	53,100

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド	459,360	423,791	538,468

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年3月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド	538,468	96.3
コール・ローン等、その他	20,930	3.7
投資信託財産総額	559,399	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.74円です。

(注3) ダイワ外貨建て日本社債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(4,855,492千円)の投資信託財産総額(4,975,899千円)に対する比率は、97.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年3月22日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,075,728,923円
コール・ローン等	13,930,204
ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド(評価額)	538,468,889
未収入金	523,329,830
(B) 負債	531,639,018
未払金	522,602,962
未払収益分配金	571,061
未払解約金	4,710,131
未払信託報酬	3,732,996
その他未払費用	21,868
(C) 純資産総額(A-B)	544,089,905
元本	571,061,933
次期繰越損益金	△ 26,972,028
(D) 受益権総口数	571,061,933口
1万口当り基準価額(C/D)	9,528円

* 期首における元本額は606,778,015円、当作成期間中における追加設定元本額は304,792円、同解約元本額は36,020,874円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,528円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は26,972,028円です。

■損益の状況

当期 自2018年9月26日 至2019年3月22日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,853円
受取利息	72
支払利息	△ 1,925
(B) 有価証券売買損益	10,486,969
売買益	35,182,636
売買損	△24,695,667
(C) 信託報酬等	△ 3,766,689
(D) 当期損益金(A + B + C)	6,718,427
(E) 前期繰越損益金	△35,647,685
(F) 追加信託差損益金	2,528,291
(配当等相当額)	(776,237)
(売買損益相当額)	(1,752,054)
(G) 合計(D + E + F)	△26,400,967
(H) 収益分配金	△ 571,061
次期繰越損益金(G + H)	△26,972,028
追加信託差損益金	2,528,291
(配当等相当額)	(776,237)
(売買損益相当額)	(1,752,054)
分配準備積立金	43,170,238
繰越損益金	△72,670,557

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	9,271,623円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	776,237
(d) 分配準備積立金	34,469,676
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	44,517,536
(f) 分配金	571,061
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	43,946,475
(h) 受益権総口数	571,061,933口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金

10円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

為替ヘッジなし/限定追加型

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			公社債 組入比率	債券先物 比率	純資産 総額
		税金 分	込 配	み 金			
4期末 (2017年3月22日)	円 9,268		円 70		% 95.9	% -	百万円 496
5期末 (2017年9月22日)	9,474		70		96.9	-	449
6期末 (2018年3月22日)	8,693		70		95.4	-	346
7期末 (2018年9月25日)	9,227		70		97.4	-	327
8期末 (2019年3月22日)	9,228		70		96.2	-	292

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

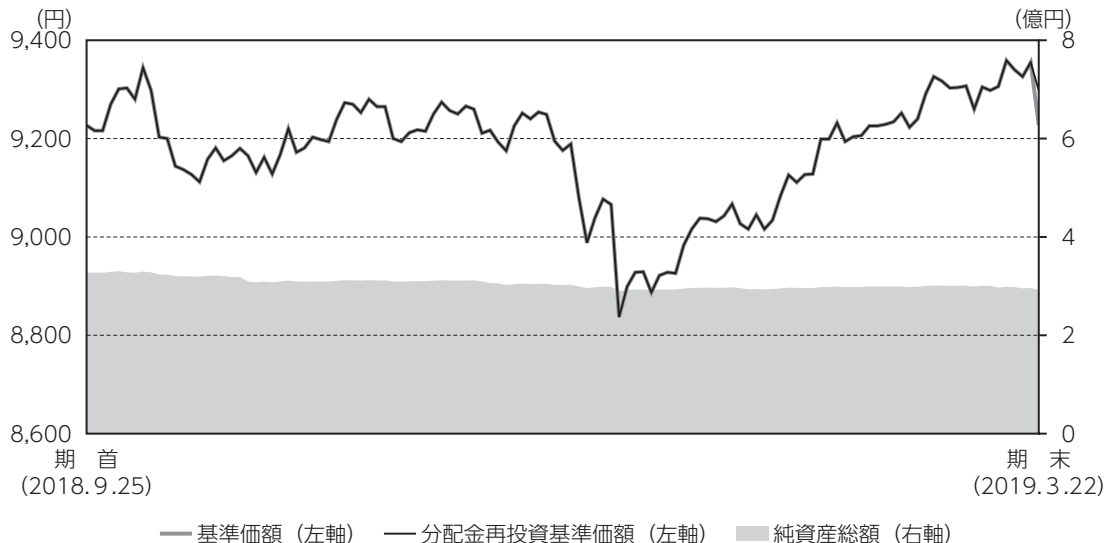
(注4) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。



運用経過

基準価額等の推移について



- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,227円

期末：9,228円（分配金70円）

騰落率：0.8%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド」の受益証券を通じて、主として日系企業が発行する米ドル建ての社債に投資した結果、円高米ドル安はマイナス要因となったものの、保有債券からの利息収入や社債金利の低下（債券価格の上昇）を反映し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

外貨建てニッポン社債ファンド2015-03 (為替ヘッジなし/限定追加型)

年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率	債 券 先 物 率
		騰 落	率		
(期首) 2018年 9 月25日	円	9,227	% -	% 97.4	% -
9 月末		9,270	0.5	97.4	-
10月末		9,220	△0.1	97.9	-
11月末		9,250	0.2	97.2	-
12月末		9,066	△1.7	96.4	-
2019年 1 月末		9,016	△2.3	96.5	-
2 月末		9,240	0.1	95.0	-
(期末) 2019年 3 月22日		9,298	0.8	96.2	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018.9.26~2019.3.22)

■米国債券市況

米国債券市場では、金利が低下（債券価格は上昇）しました。

当作成期首より2018年11月前半にかけては、FOMC（米国連邦公開市場委員会）で利上げが決定されたことや、パウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長が中立金利を上回る利上げの必要性に言及したことなどから、金利の上昇圧力が強まりました。しかしその後は、世界経済の減速懸念が広がる中、FRBによる追加利上げも市場のリスク回避姿勢を強めさせ、金利は低下基調に転じました。2019年に入ると世界経済に対する懸念は和らぎましたが、FRBの金融引き締め姿勢の後退を背景に、金利は当作成期末にかけて一段と低下しました。

米ドル建ての社債については、世界的な景気減速懸念から、当作成期を通じて見るとスプレッド（国債に対する上乗せ金利）は拡大しましたが、多くの銘柄は国債に連れて金利が低下しました。

■為替相場

米ドル円は下落しました（円高）。

当作成期首より2018年12月下旬にかけて、株価や原油価格が下がり市場のリスク回避姿勢が強まる中で、米ドル円は下落しました。しかしその後は、FRBが景気に配慮した金融政策を行うとの期待が市場で高まり、市場のリスク選好姿勢が回復したことなどから下落幅を縮める展開になりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れます。

■ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

ポートフォリオについて

(2018.9.26~2019.3.22)

■当ファンド

「ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

■ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオを維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳(1万口当り)

項目	当期	
	2018年9月26日 ～2019年3月22日	
当期分配金(税込み)	(円)	70
対基準価額比率	(%)	0.75
当期の収益	(円)	70
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	639

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程(1万口当り)

項目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	158.29円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		19.80
(d) 分配準備積立金		531.81
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		709.91
(f) 分配金		70.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		639.91

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れます。

■ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018.9.26~2019.3.22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	62円	0.671%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,177円です。
(投 信 会 社)	(24)	(0.263)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0.395)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料/当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税/当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.010	その他費用＝当作成期中のその他費用/当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	63	0.681	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2018年9月26日から2019年3月22日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド	-	-	31,337	39,300

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド	260,034	228,696	290,581

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年3月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド	290,581	98.0
コール・ローン等、その他	6,038	2.0
投資信託財産総額	296,620	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.74円です。

(注3) ダイワ外貨建て日本社債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(4,855,492千円)の投資信託財産総額(4,975,899千円)に対する比率は、97.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年3月22日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	296,620,733円
コール・ローン等	6,038,757
ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド(評価額)	290,581,976
(B) 負債	4,279,960
未払収益分配金	2,217,643
未払信託報酬	2,050,335
その他未払費用	11,982
(C) 純資産総額(A-B)	292,340,773
元本	316,806,224
次期繰越損益金	△ 24,465,451
(D) 受益権総口数	316,806,224□
1万口当り基準価額(C/D)	9,228円

* 期首における元本額は354,769,536円、当作成期間中における追加設定元本額は345,512円、同解約元本額は38,308,824円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,228円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は24,465,451円です。

■損益の状況

当期 自2018年9月26日 至2019年3月22日

項 目	当	期
(A) 配当等収益	△	353円
受取利息		17
支払利息	△	370
(B) 有価証券売買損益		4,317,804
売買益		4,487,509
売買損	△	169,705
(C) 信託報酬等	△	2,062,550
(D) 当期損益金(A + B + C)		2,254,901
(E) 前期繰越損益金	△	25,106,077
(F) 追加信託差損益金		603,368
(配当等相当額)	(627,447)
(売買損益相当額)	(△	24,079)
(G) 合計(D + E + F)	△	22,247,808
(H) 収益分配金	△	2,217,643
次期繰越損益金(G + H)	△	24,465,451
追加信託差損益金		603,368
(配当等相当額)	(627,447)
(売買損益相当額)	(△	24,079)
分配準備積立金		19,645,431
繰越損益金	△	44,714,250

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益		5,014,920円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0
(c) 収益調整金		627,447
(d) 分配準備積立金		16,848,154
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		22,490,521
(f) 分配金		2,217,643
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		20,272,878
(h) 受益権総口数		316,806,224口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金

70円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド

運用報告書 第10期 (決算日 2019年3月22日)

(作成対象期間 2018年9月26日～2019年3月22日)

ダイワ外貨建て日本社債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
株式組入制限	純資産総額の10%以下

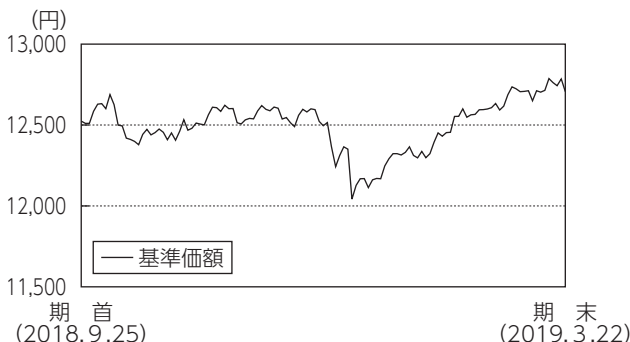
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率		公 社 債 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
		%	%		
(期首) 2018年 9月25日	12,524	-	97.9	-	-
9 月末	12,585	0.5	97.9	-	-
10 月末	12,533	0.1	98.2	-	-
11 月末	12,588	0.5	97.4	-	-
12 月末	12,351	△1.4	96.5	-	-
2019年 1 月末	12,298	△1.8	96.6	-	-
2 月末	12,617	0.7	94.9	-	-
(期末) 2019年 3月22日	12,706	1.5	96.8	-	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。
 (注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。
 (注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：12,524円 期末：12,706円 騰落率：1.5%

【基準価額の主な変動要因】

主として日系企業が発行する米ドル建ての社債に投資した結果、円高米ドル安はマイナス要因となったものの、保有債券からの利息収入や社債金利の低下(債券価格の上昇)を反映し、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○米国債券市況

米国債券市場では、金利が低下(債券価格は上昇)しました。

当作成期首より2018年11月前半にかけては、FOMC(米国連邦公開市場委員会)で利上げが決定されたことや、パウエルFRB(米国連邦準備制度理事会)議長が中立金利を上回る利上げの必要性に言及したことなどから、金利の上昇圧力が強まりました。しかしその後は、世界経済の減速懸念が広がる中、FRBによる追加利上げも市場のリスク回避姿勢を強めさせ、金利は低下基調に転じました。2019年に入ると世界経済に対する懸念は和らぎましたが、FRBの金融引き締め姿勢の後退を背景に、金利は当作成期末にかけて一段と低下しました。

米ドル建ての社債については、世界的な景気減速懸念から、当作成期を通じて見るとスプレッド(国債に対する上乗せ金利)は拡大

しましたが、多くの銘柄は国債に連れて金利が低下しました。

○為替相場

米ドル円は下落しました(円高)。

当作成期首より2018年12月下旬にかけて、株価や原油価格が下がり市場のリスク回避姿勢が強まる中で、米ドル円は下落しました。しかしその後は、FRBが景気に配慮した金融政策を行うとの期待が市場で高まり、市場のリスク選好姿勢が回復したことなどから下落幅を縮める展開になりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

◆ポートフォリオについて

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオを維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	1 (1)
(その他)	(0)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2018年9月26日から2019年3月22日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカ・ドル 2,020	千アメリカ・ドル 5,172 (-)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。
 (注4) 単位未満は切捨て。

ダイワ外貨建て日本社債マザーファンド

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年9月26日から2019年3月22日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘	柄	金	額	銘	柄	金	額
			千円				千円
Nippon Life Insurance Co (日本)	4.7% 2046/1/20		223,957	Nippon Life Insurance Co (日本)	5% 2042/10/18		682,928
				ORIX Corp (日本)	2.95% 2020/7/23		550,224
				Fukoku Mutual Life Insurance Co (日本)	6.5% 永久債		488,712
				Sompo Japan Insurance Inc (日本)	5.325% 2073/3/28		481,409
				Sumitomo Life Insurance Co (日本)	6.5% 2073/9/20		480,815
				Meiji Yasuda Life Insurance Co (日本)	5.2% 2045/10/20		479,101
				Mitsui Sumitomo Insurance Co Ltd (日本)	7% 2072/3/15		454,830
				Nissan Motor Acceptance Corp (アメリカ)	2.55% 2021/3/8		398,169
				Mizuho Financial Group Cayman 2 Ltd (ケイマン諸島)	4.2% 2022/7/18		291,940
				Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ Ltd/The (日本)	3.75% 2024/3/10		270,776

(注1) 金額は受渡し代金 (経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

区 分	当				期 末				
	額 面 金 額	評 価 額			組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	千 円			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
						%	%	%	%
アメリカ	千アメリカ・ドル 42,100	千アメリカ・ドル 43,286	千円 4,793,580	% 96.8	% -	% 78.2	% 15.5	% 3.1	%

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	当				期 末				償 還 年 月 日
	銘	柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額			
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
						千円			
アメリカ	Sumitomo Mitsui Banking Corp		社 債 券	3.6500	千アメリカ・ドル 3,500	千アメリカ・ドル 3,564	千円 394,679	2025/07/23	
	Nissan Motor Acceptance Corp		社 債 券	2.5500	1,400	1,373	152,094	2021/03/08	
	Meiji Yasuda Life Insurance Co		社 債 券	5.2000	3,400	3,502	387,894	2045/10/20	
	Dai-ichi Life Insurance Co Ltd/The		社 債 券	4.0000	3,800	3,657	405,002	永久債	
	Mitsui Fudosan Co Ltd		社 債 券	3.6500	3,000	3,031	335,744	2027/07/20	
	Mitsui Sumitomo Insurance Co Ltd		社 債 券	7.0000	3,200	3,449	381,998	2072/03/15	
	Sumitomo Life Insurance Co		社 債 券	6.5000	3,200	3,472	384,567	2073/09/20	
	Nippon Life Insurance Co		社 債 券	5.0000	1,400	1,446	160,149	2042/10/18	
	Nippon Life Insurance Co		社 債 券	4.7000	2,000	2,030	224,850	2046/01/20	
	Fukoku Mutual Life Insurance Co		社 債 券	6.5000	3,400	3,662	405,586	永久債	
	Sompo Japan Insurance Inc		社 債 券	5.3250	3,400	3,515	389,306	2073/03/28	
	Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ Ltd/The		社 債 券	3.7500	3,400	3,493	386,817	2024/03/10	
	Mizuho Financial Group Cayman 2 Ltd		社 債 券	4.2000	3,400	3,447	381,802	2022/07/18	
	Mizuho Bank Ltd		社 債 券	3.7500	1,000	1,023	113,352	2024/04/16	
	Mitsubishi Corp		社 債 券	3.3750	2,600	2,616	289,735	2024/07/23	
合 計	銘 柄 数 金 額	15銘柄			42,100	43,286	4,793,580		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年3月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	4,793,580	96.3
コール・ローン等、その他	182,318	3.7
投資信託財産総額	4,975,899	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110.74円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(4,855,492千円)の投資信託財産総額(4,975,899千円)に対する比率は、97.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年3月22日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,975,899,693円
コール・ローン等	145,101,568
社債券(評価額)	4,793,580,786
未収利息	36,292,044
前払費用	925,295
(B) 負債	25,100,000
未払解約金	25,100,000
(C) 純資産総額(A - B)	4,950,799,693
元本	3,896,578,081
次期繰越損益金	1,054,221,612
(D) 受益権総口数	3,896,578,081口
1万口当り基準価額(C/D)	12,706円

* 期首における元本額は8,502,447,430円、当作成期間中における追加設定元本額は42,627,584円、同解約元本額は4,648,496,933円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ外貨建て日本社債ファンド(為替ヘッジあり)2014-08 1,313,725,318円、ダイワ外貨建て日本社債ファンド(為替ヘッジあり)2014-10 615,724,198円、外貨建てニッポン社債ファンド2015-03(為替ヘッジあり/限定追加型)423,791,035円、外貨建てニッポン社債ファンド2015-03(為替ヘッジなし/限定追加型)228,696,660円、外貨建てニッポン社債ファンド(為替ヘッジあり)2015-09 276,291,676円、外貨建てニッポン社債ファンド(為替ヘッジあり)2016-03 1,038,349,194円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,706円です。

■損益の状況

当期 自2018年9月26日 至2019年3月22日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	196,758,716円
受取利息	196,774,753
支払利息	△ 16,037
(B) 有価証券売買損益	△ 96,750,996
売買益	115,086,725
売買損	△ 211,837,721
(C) その他費用	△ 498,522
(D) 当期損益金(A + B + C)	99,509,198
(E) 前期繰越損益金	2,146,412,999
(F) 解約差損益金	△1,202,373,001
(G) 追加信託差損益金	10,672,416
(H) 合計(D + E + F + G)	1,054,221,612
次期繰越損益金(H)	1,054,221,612

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。